

リモートワークにおける課題

快適

にリモートワークを
してもらいたい！



業務アプリケーションが
固まったり
しないかな…



情報システム部門

遅い！



画面が
固まる



効果的な対応が分からない…

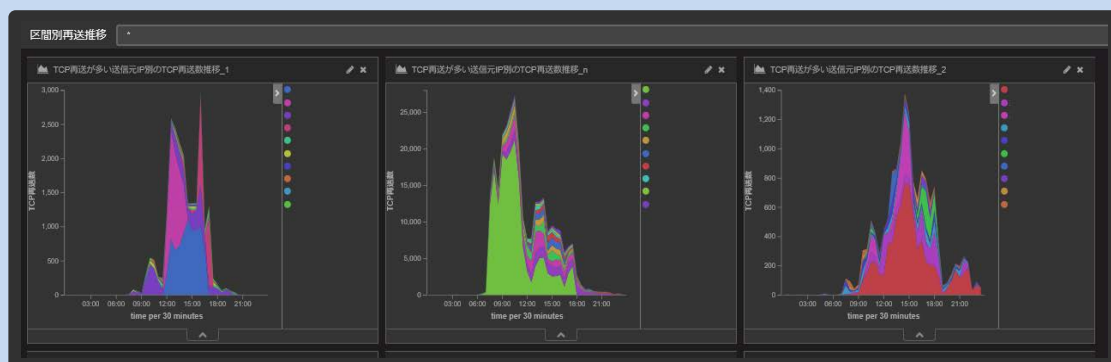
リモートワークが始まり、情報システム部門はさまざまな対応に追われています。

ご提案

日立がこれまで培ってきたネットワークの技術と経験を活用

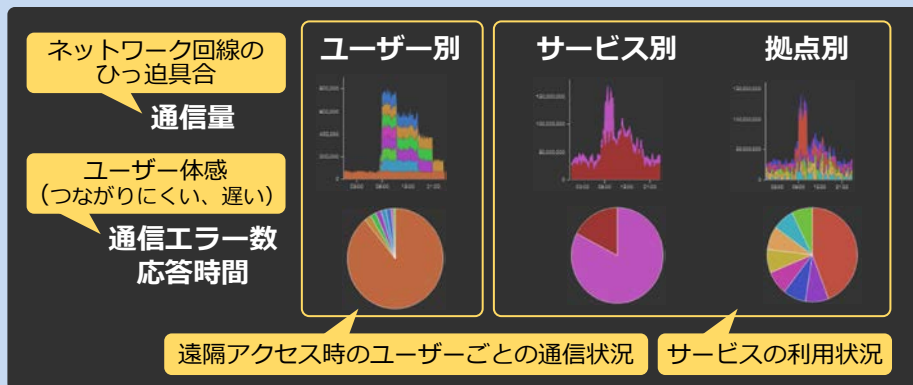
リモートワーク見える化ソリューション

- RVS (Real-time Visualization Software)
リアルタイム可視化ソフトウェアを用いたソリューション
- ネットワークを流れる通信から、ユーザー別、サービス別、拠点別に
占有帯域や通信品質を見える化。
ユーザーからのクレームにすばやく対応でき、
ネットワークのボトルネックに対する、迅速かつ効果的な対策をサポート



Aサービス以外は通信品質に問題なく、帯域も余裕がある。
応答が遅いボトルネックはAサービスなのでリソースを強化しよう！

特長1：多角的に集計・見える化



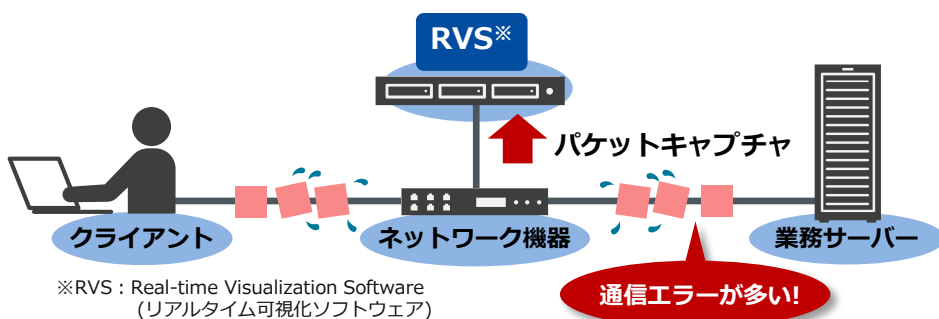
- さまざまな視点でシステムを監視できる可視化画面を提供
- 可視化画面でシステム状況の全体像を把握
- システムの運用形態に合わせてフォーマットや配置などをカスタマイズ可能

特長2：システムへの影響を抑えた簡単でスムーズな導入

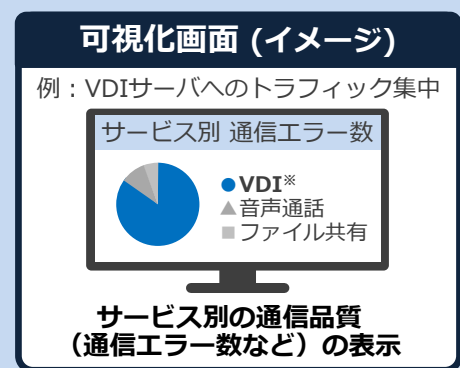
- システム上のサーバーやクライアントへのエージェントソフトの導入や設定変更が不要
- 可視化画面からすぐに監視を開始

可視化の仕組み

- システムを流れるトラフィックの通信パケットを、IPアドレス/サブネット・ポート番号単位でキャプチャして分析
- 拠点/ユーザー・サービス別に通信量、通信エラー数や応答時間を可視化



特長3：接続遅延の要因特定をサポート



- 特定サービスへの負荷集中など、接続遅延の要因を可視化画面で推定可能
- 要因推定オプションの、要因の自動切り分けとアラート通知で、より効率的な要因推定をサポート

※ VDI : Virtual Desktop Infrastructure

- 記載している仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。
- 製品の色は印刷されたものですので、実際の製品の色調と異なる場合があります。
- 本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。
- 記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

- 「システム稼働リスク可視化ソリューション」に関するホームページ
<http://www.hitachi.co.jp/rvs/smfvs/>
- インターネットでのお問い合わせ
<http://www.hitachi.co.jp/network/contact/>